

Web 学校評価【1月】の結果

- 1 方法 1月27日(水)～1月30日(土) まちこみ「イベント出欠」による
- 2 問い 「学校は、この一ヶ月の学校運営を適切に行っているか」
- 3 結果 (454人の方から回答をいただきました)

実施月	○適切に行っている	×適切に行っていない	△どちらとも言えない
1月	429人(94.5%)	4人(0.9%)	21人(4.6%)

- 4 主なコメント【回答】 ※内容ごとに整理し、まとめて表現しております。

《学習指導》

- 欠席している生徒たちのために、西中独自のNisiプロジェクトを作ってくれたことに感動しました。まだ、我が家では欠席することなく過ごせていますが、体調が悪くなったり、念のために欠席する際は、安心して休ませることができます。先生たちの日々の取組に感謝です。みんなが安心安全に過ごせるよう願っています。
- Zoom授業等で欠席しても学校と繋がれるようにして下さったこともとても良かったと思います。先月の話しですが、宿題応援キャンペーンもとても良い取組でした。
- リアルNisiプロジェクトの取組が素晴らしいと思いました。生徒も授業に遅れる心配がなくなるので安心して休めますね。
- 市内の学校でコロナ感染の情報が聞こえてくる中、学校独自のリモート学習を取り入れたことは、大変高く評価したいと思います。
- コロナへの対応「Nisiプロジェクト」は、高校クラスターにより不安を感じている保護者にとって、とても心強い取組でした。結局我が子は、毎日登校していましたが、休ませることになっても「Nisiプロジェクト」で勉強できるからいいな、と安心できました。いつも、生徒と保護者の気持ちを考えて対応してくださりありがとうございます。
- 自宅学習にもご配慮いただきありがとうございます。ご負担もかなりと思いますが、もしうちの子が休むとなった場合、既に対策がとられているので安心です。

【回答】

- 「Nisiプロジェクト」は、コロナの感染拡大を防止するため、登校を自粛しなければならない生徒が増えつつある中、生徒の学びをいかにして保障するかと考えた結果の取組です。まだ始めたばかりで、今後少しずつ形を変えて、より実効性の高いものにしていきたいと考えています。ただ、あくまで『生徒一人一人が、家庭学習を計画的に行う一助』と捉えています。体は元気なのに、諸事情で休まなければならなくなった時、あるいは登校を自粛している生徒と学校とのコミュニケーションの場の一つとしてこの取組を継続していきたいと思っています。

- 3年生の保護者です。冬休みの宿題ですが、他の学校に比べかなり量が多いと思いました。受験勉強を優先させたいのに大量の宿題に追われ、自分がやりたい勉強が思うようにできていませんでした。ある教科の先生は、このドリルをやってもあまり力がかからないとも言っていたそうです。
- 私立高校合格した生徒に対し、もう少し勉強させてほしいです。推薦で合格したからといって家でダラダラ過ごすことが多くなっていると思われます。ご検討願います。

【回答】

- 宿題が多ければいいのか？少なければいいのか？適度な量とはどのくらいなのか？
様々な生徒が一斉に学習している状況で、この答えは正直難しいと思っています。
この冬の3年生の宿題の量が特別多かったとは思っていませんが、過度に負担を強いることになっていたとすれば申し訳なかったと思います。今、学校ではAI型ドリル(eライブラリ、キュビナ)を導入して、自分のレベルにあった学習を自分のペースで行えるようにしています。今後、プリントやワークなどの紙課題とAIドリルを効果的に組合せ、より効果の高い学習方法を工夫していきます。なお、どんなドリル課題でも、ただ問題を解くだけでは力は付きません。問題の解き方、解いた後の振り返りの仕方などやり方によって学習効果は何倍にも高まります。(ということとその先生は言いたかったのだと思います。)
- 推薦入試等で既に進学先が決定している生徒へは、継続して勉強すること、これから受験本番を迎える仲間たちへ配慮した行動をとること等を指導しています。ある私立高校からは、入学後にテストを実施することを宣告され、課題も渡されています。本校としても、これから受験に向かう生徒はもちろん、既に合格が決まった生徒へも毎日の学校生活、家庭学習をしっかり行うよう指導します。

《学校生活(トレパン登校)》

- 大雪の登下校安全対策として、ジャージ登校は良かった。
- ジャージ登校にしてくださってありがとうございます。毎日全ての着衣を洗えるのは、気休めかもしれませんが安心できます。
- いつもお世話になっております。トレパン登校いいと思います。今年は天気がコロコロ変わって通学路も雪が多かったり、滑ったり、ゲチャゲチャだったり、大変だと思うので、引き続きトレパン登校でお願いしたいです。
- 感染予防をしつつも様々な配慮をしていただき大変有り難く思っております。今回のトレパン登校はとても良かったと思います。感染症予防の面からも有効だと思いますし、特に女子生徒の制服は防寒に適さないですし、教科書やノートパソコン、部活動の道具を持ち運ぶ生徒の様子を見ていると、トレパン登校はとても助かります。是非継続していただきたいと思います。

- 今年の悪天候や道路状況を見ると、少しでも荷物の少ないジャージでの登下校は助かります。子どもたちも寒いでしょうが、防寒対策をとりながら体調に気を付けて頑張ってもらいたいです。

【回答】

- 今年は、春から感染予防のため、夏の猛暑時、今回の冬道の安全と、例年になくトレパン登校としている期間が長くなっています。本校では、あくまで制服登校を基本としますが、状況によってはトレパン、トレシャツ(短パン、短シャツ)での登校も取り入れて参ります。なお、今のトレパン登校については、2月末までを予定しております。3月になれば、天候も回復してくるであろうこと、年度末の様々な儀式も行われるためです。今後も、様々な状況を見て、生徒たちの安全を第一に考え、柔軟に対応して参ります。

《校内外の生活、交通安全》

- 日々のご指導、教育ありがとうございます。毎月のコメントにもありますが、やはり今月もコメントさせていただきます。冬道の登下校、特に下校の歩き方が危なくて仕方ありません。集団で横並び歩き、ふざけあって滑って転んで、後ろから車が来ているのにも気付かない。これは、中学生になってから指導するのではなく、小学生からの指導が必要なのではないかと思います。泉川小学校の児童も、後ろを見ないまま走って道路を渡る。わざわざ雪山を踏みながら歩く姿も見られます。車が横を通った時に滑ったら、転んだらと思うとひやひやします。夏は夏、冬は冬の危険があります。小学校のうちから、毎年全学年で冬道の交通安全教室など実施してみたいかがでしょうか。低学年だから危ないのではありません。高学年だからこそ、ふざけあって騒いで危ないこともあると思います。今後ともご指導よろしくお願いたします。
- 通学路の除排雪が未だに進まず危険な箇所がたくさんあります。学校からも市へ強く働きかけていただけると幸いです。

【回答】

- 交通安全対策として現在「交通マナー向上プロジェクト」に取り組んでおり、教師による巡回指導や規律委員会による呼びかけ、全校生徒による標語コンクールなどを行っておりますが、意識の低い生徒もあり、改善とまでは至っていません。今後も粘り強く指導していきます。次年度は、年度はじめの早い時期に「交通安全教室」を実施し、交通マナーの定着を図るほか、PTA校外委員会や学区健全育成推進会議、近隣小学校とも連携しながら、地域全体として子どもたちの命を守る体制を整えて参ります。
- 除排雪について、学校ではこれまでも市に危険箇所の情報提供をし、対応を依頼してきております。1月中旬にはある程度歩道が確保されておりましたが、数日前の大雪と夜間の除雪車の寄せ雪により、また、歩道がなくなっているところもあります。今後も、市へ要望していきますので、危険箇所等の情報がありましたら学校へもお知らせください。

《学校生活(部活動)》

- 市内高校のコロナクラスター発生に対応し、部活動や校外での活動を制限したのは良かった。市内での感染拡大が、最小限に抑えられたと思う。受験を控えているので、状況に応じて今後も対応してほしい。
- コロナ対応について、スポーツクラブで発生したとのことで、慎重な対応をとったことは理解できるが、学校管理下外の活動に言及したことには、もう少し配慮した対応や十分な説明が必要と考える。学校単位、校長判断ということで、これも理解するが、学校によりニュアンスの違い、温度差が異なり、生徒たちの受け止め方も様々で、結果的に困惑したと思う。スポーツクラブによっては、学校の方針に従ってくれということ、練習に来ていいとも、来てはダメとも言えなくなったところもあるようだった。学校や教育委員会から各スポーツクラブに要請するとか、コミュニケーションをとった上で対応してほしい。
- 市内コロナ感染が広まりつつある中、学校独自のリモート学習を取り入れたことは、大変高く評価したいと思います。ただ、受験を控えている子を持つ親としては、コロナだけで無くインフルエンザも含め感染予防対策として部活動は自粛してもらいたい気持ちもあります。特に学校関係者以外の外部からの指導がある場合は、尚のこと自粛していただきたいです。

【回答】

- 市内の高校で部活動クラスターが連続して発生している中、部活動の実施については、より慎重に行うべきと思っています。

1回目の部活動クラスター(スポーツクラブクラスターも含む)が発覚時は、とにかく早く感染経路の可能性を断つ必要があると思い、学校内外を問わず活動を中止すべきと判断しました。少し経って、そのまま活動している学校やスポーツクラブがあることを知り、正直少し驚きました。ご迷惑をおかけした方々に改めてお詫び申し上げます。

2回目(最新)のクラスターについては、現時点で特に市教委からの指示はありません。国、県、市からの情報、指示を正しく読み解き、子どもたちの安全を最優先にしつつ、できるだけ正常に近い教育活動を維持して参ります。

- コロナ対応に適切と言えば適切なのだと思いますが、高校で部活クラスターがあっても、普通に部活をしている中学校もあるので、この差は何なんだろうと思います。また、過去にいろいろな人が質問していましたが、明確な回答が返ってきていないので質問します。体育館を使う部活ですが、コロナ前は、平日体育館で週2、その他校内で筋トレとかを週2の合計4日間部活動をしていたのですが、部活動が再開されてから、体育館での週2しか部活がありません。校内で週2行っていた筋トレとかの部活はもう行わないのでしょうか？基礎体力づくりにとても重宝していたので、この部分が無くなりとても残念です。また、他校の話しになり

ますが、体育館を使えない日でも校内で基礎体力作りに取り組んでいるので、できれば西中でもやらせてもらいたいです。おそらく来年度の春の中体連しか公式戦もないので、悔いのないように、できれば勝たせてあげたいので、この体育館を使わない日の校内トレーニングの週2を再開してほしいです。

【回答】

○8月のWeb学校評価で同様な質問があり、合同トレーニングや平日の外でのトレーニング再開も検討していましたが、その後県内各地でクラスターが発生したこともあり、実施について保留しておりました。結論として、合同トレーニングは「密を避ける」という理由で、今年度は実施しないこととしました。

また、コロナ禍における部活動実施ガイドラインに、「同じ場所で複数の部が活動しない」とあることから、現在も部活動を前後半に分け短時間で実施したり、冬期間は、外の部が廊下や階段に分かれて(場所を指定して)他の部と交わらないようにトレーニングしたりしています。よって、通常体育館で練習している部が、割当てのない日に廊下等で練習することは、今はできません。

なお、各部では、練習のない日に、自宅でできるトレーニングメニューを指示し、それぞれ真剣に行っていると顧問から報告を受けています。

ほとんどの部の冬季大会が急遽中止となり、2年生の運動部員にとっては、春季大会と夏の中体連を残すだけとなっています。是非勝たせてあげたい、達成感を味わわせたいという思いは、我々も同じです。何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

- お世話になっております。バドミントン部について、顧問の先生が練習メニューを指示したのにも関わらず、顧問以外の先生が、自分でやっているクラブチームの子どもたちだけ部活活動中に別メニューで練習させているようですがクラブチームに入っていない子は、大変混乱しております。クラブチームの練習は部活動以外でお願いします。

【回答】

○以前も書きましたが、本校では各部の顧問が指導を行うことを原則としていますが、それ以外の先生でも、積極的にいろいろな部活に関わり、練習相手をするなどしています。特に今年度は、若い体育系の教員が多く、その有り余るエネルギーを西中生に還元するよう校長からもお願いしています。

バドミントン部の件について、複数の教員や生徒に確認しましたが、ご指摘のようなことは確認できませんでした。確かに、個人的に別のクラブで指導している教員がいることは事実です。その教員が、本校の顧問からお願いされて指導を手伝うことが時々ありますが、生徒が所属するクラブの違いによって差別するような行為はしておりません。

しかし、実際に混乱したというのであれば申し訳なく思います。今後も本校の全ての教職員が、それぞれの得意分野を生かして全ての西中生のために可能な限り尽力します。

《その他》

- 今月もありがとうございました。
- いつも大変お世話になっております。今年もよろしくお願いたします。
- 学校側からのこのような情報発信は、私たち家族にとって、とても有り難いものです。この透明性、風通しの良さは今後も続けてほしいです。おかげさまで、私の子どもは毎日笑顔で登校しています。ありがとうございます。
- 長引くコロナ禍で学校としてもコロナ対策に大変なことと思います。感染防止対策は最重要課題だとは思いますが、学校の休み時間も友達同士で会話してはいけないと指導されているようで、子どもたちのストレスが心配です。マスクをしていれば、そこまで過敏になる必要はないのではないかと思います。コロナ禍はこれからも長引くと思いますし、大人も子どもも我満の生活を強いられ、ストレスもだいぶ蓄積されていることと思います。心のケアを考えて家庭でも生活していきたいと思いますので、学校でもよろしくお願いたします。
- コロナの件で、いろいろ噂を聞きました。あること無いことを言いふらしている先生がいるみたいなんですが、実際はどうなんですか？

【回答】

- いつもありがとうございます。なかなか収束が見えない「コロナ」ですが、学校での感染対策は、国(県、市)のガイドラインに沿って可能な限り万全に行っております。休み時間の会話も控えるよう指導していますが、生徒たちはけっこう笑いながら会話してます。ただ、時々大声を出したり、体を密着させてじゃれ合う生徒もいるので指導しています。もちろんストレス解消場面も適度に取り入れながら教育活動を工夫しています。お子様の心のケア等について、心配なことがありましたら遠慮なく学校にご相談ください。
- コロナについても(それ以外でも)根も葉もない噂話や、職務上知り得た秘密を他言してはいけないと日頃から先生方に指導しています。ご指摘の言いふらしているという行為があったか否かは確認できていません。今後、疑われるような言動は厳に慎むよう改めて全教職員に指導します。

学校からの回答（結びに）

早いもので今年ももう一ヶ月が過ぎました。1年前の今頃、クルーズ船ダイヤモンドプリンセス号の感染状況が連日トップニュースとして取り上げられていましたが、その頃は、自分とは関係ないことと思っていた人も少なくないのではないのでしょうか。（私もその一人です。）あれから1年。だれが、今のような世の中になっていることを想像できたでしょうか？

この1年で良くも悪しくもいろんなことが変化しました。「いつもとは違う〇〇」が、コロナ禍においては、「当たり前のこと」になりつつあります。学校では、もうしばらくこのような社会情勢が続くであろうことを前提に、令和3年度の学校行事や様々な教育活動を計画しています。3学期の保護者集会（3学年は2月19日、1, 2学年は3月18日）で、今年度の総括と次年度の見直しをお話しさせていただく予定です。

2月もあっという間に過ぎ去ることと思いますが、保護者の皆さまの参画を得ながら、子どもたちの「夢の実現」のために精一杯努めさせていただきますので、何卒よろしく願いいたします。

令和3年2月2日

青森市立西中学校 校長 今別幸司